

おめでとうございます！

チルコロ・マンドリニスティコ・フローラ 創立60周年

高橋五郎先生 地域文化功労者表彰

アンサンブル フィオーレ ディ オオサカ 葛原睦子

去る2025年10月12日、メトロポリタンホテル仙台においてチルコロ・フローラ創立60周年並びに高橋五郎先生地域文化功労者表彰のご祝賀会が開かれました。そして、翌10月13日にはチルコロ・フローラ第60回定期演奏会が日立システムズホール仙台において開催されました。

光栄にも私たちフィオーレのメンバーは、この両日出席させていただき、第60回定期演奏会には、第IV部に友情出演させていただきました。あらためて今日までマンドリン音楽の振興に努め、合奏団を率いて来られた高橋五郎先生の偉大さを思いました。またチルコロ・フローラのみなさんが日々お稽古に励み真摯に音楽に向き合い団を大切にされて来られたことに感動でした。

五郎先生と私の出会いは、30年前の神戸で開催された日本マンドリン連盟の総会でした。たまたまフィオーレが受けた栄誉なことをこの場で紹介されたことについて、五郎先生が私に寄って来られ、この日懇親会でもずーっと私の横に座りマンドリンのことを熱く語ってくださったのでした。この時以来、フィオーレの演奏や私の独奏についてたくさん批評してくださりお付き合いが続きました。何でも率直に言われたことが、なるほどと納得のいくことばかり、とても有難いと思いました。

2009年、指揮者を持たないフィオーレなのですが、メンバーに五郎先生に指導していただける機会を持ちたいとの思いから、第10回定期演奏会の第Ⅲ部で指揮をしていただきました。はじめて大阪に練習に来られた五郎先生は、私たちの音が美しいことを大変褒めてくださいましたが、音の始末の悪いことを何度も注意されました。また、練習していたAmadeiの「蛍の舞曲」を耳にされて、「これはホタルではなくカブトムシみたいですね・・・」と言われ大爆笑だったことは、今でも語り草になっています。

その後、とてもフィオーレのことを気に入っていただき、チルコロ・フローラとの交流が始まります。2010年、チルコロ・フローラ創立45周年記念定期演奏会に賛助出演。2011年イタリア演奏旅行に参加。2014年、来たれ愛しのマンドリンコンサート。フィオーレの企画でチルコロ・フローラとの合同演奏会を大阪で開催。こうして、親交が続き、フローラとフィオーレのメンバーはすっかり親しくなり、まるで親戚のような関係が生まれました。

私たちのキーワードは「ナボレターナ！」、ここに音楽の原点あり。そして目指すのは「美しい音で生きた音楽を演奏すること」。

五郎先生は師匠の田中常彦先生の教えを忠実に継承されて来られました。いつも「田中先生だったら、こう言われます・・・」が口癖のように話して下さいます。たくさんの方の教えを伝えてくださいました。それらは、私たちの演奏の中に確実に生かされていると思います。ほんとうに感謝でしかありません。マンドリンをひたすら愛し、音楽へのぶれない熱意を持ち、60年の偉業を成し遂げられた高橋五郎先生、そして演奏することが大好きで人の輪を大切にされてきたチルコロ・フローラのみなさん。これからも

心に響く素敵な演奏を聴かせてください。幸多かれと祈ります。